

独立行政法人日本貿易振興機構
2018年度 第1回契約監視委員会 議事概要（要旨）

1.日時：2018年6月20日（水）10:00～12:00

2.場所：日本貿易振興機構 10階会議室

3.出席委員：

中村信男委員長、尾花眞理子委員、齊藤秀久委員、出口眞也委員、松本裕樹委員

4.議事

- (1) 2017年度一者応札・応募案件
- (2) 2017年度競争性のない随意契約
- (3) 2018年度競争性のない随意契約
- (4) 「平成29年度調達等合理化計画」評価に係る点検
- (5) 「平成30年度調達等合理化計画」策定に係る点検

5.委員長選出

契約監視委員会の設置に関する内規第3条第3項に基づき、外部有識者のうちから委員の互選により、中村委員を委員長に選出。

6.議事概要

(1)2017年度一者応札・応募

事務局より2017年12月から2018年3月に実施した案件につき説明。

<委員からの主なコメント等>

- 複数年度契約にした方がコストも下がり、また新規に参入しやすくなる。
⇒単年度という予算の制約があるが、案件によってはメリットを考え、情報システム関連に限らず継続的な業務について、複数年度契約化を検討する。
- 全体のIT投資に関する方針を検討した方がよい。個別案件の最適ではなく全体最適を考
えることが全体のコスト削減につながる。
- 情報セキュリティに関する要求レベルの基準について確認。
- 前回の委員会での意見をふまえ総合評価基準を確認したが、既存事業者が有利になるよ
うな評価項目はなく、調達は公平に実施されている。

(2) 2017年度競争性のない随意契約

事務局より2017年12月から2018年3月に実施した案件につき説明。

<委員からの主なコメント>

特になし。

(3) 2018 年度競争性のない随意契約

事務局より対象案件について説明。

<委員からの主なコメント>

- 工事の設計監理業務は他者も履行可能と考えられるため、随意契約によらざるを得ない理由をより明確にし、透明性を確保する。

(4) 「平成 29 年度調達等合理化計画」評価及び「平成 30 年度調達等合理化計画」策定に係る点検

事務局より平成 29 年度の評価及び平成 30 年度の計画につき概要を説明。

<委員からの主なコメント>

- 調達等合理化計画ではもっと大きな視点で調達を考えることも必要である。

以 上